



**<育成を目指す資質・能力>**

※別紙「情報活用能力育成のための年間指導計画」に記載

**<関連する各教科等の力>**

国語科			社会科	数学科	理科
<p><b>第1学年</b></p> <p>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。</p> <p>○比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典等の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。</p>	<p><b>第2学年</b></p> <p>○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解することができる。</p> <p>○情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。</p>	<p><b>第3学年</b></p> <p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。</p> <p>○情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。</p>	<p>○手段を考えて課題の解決に向けて必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>○収集した情報を現代社会の見方・考え方を働かせて読み取ることができる。</p> <p>○読み取った情報を課題の解決に向けてまとめることができる。</p>	<p>○データの分布に着目しその傾向を読み取り批判的に考察して判断することができる。</p> <p>○複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断することができる。</p> <p>○標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。</p>	<p>○自然現象を観察し、必要な情報を抽出・整理することができる。</p> <p>○抽出・整理した情報について、それらの関係性(共通点や相違点など)や傾向を見いだすことができる。</p> <p>○情報収集して仮説の妥当性を検討したり、考察したりすることができる。</p>
音楽科	美術科	保健体育科	技術・家庭科	外国語科(英語)	総合的な学習の時間
<p>○創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。</p> <p>○創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることができる。</p> <p>○自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度を形成し、音楽に関する知的財産権について理解することができる。</p>	<p>○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。</p> <p>○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>○創造することの価値を捉え、自己や他者の作品などに表れている創造性を尊重する態度を形成し、美術に関する知的財産権について理解することができる。</p>	<p>○健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることや、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解することができる。</p> <p>○健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解することができる。</p> <p>○健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。</p>	<p>○知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、並びに他者と協働して粘り強く物事を前に進める態度を身に付けることができる。</p> <p>○情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解することができる。</p> <p>○売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p>	<p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることができる。</p>	<p>○実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>○探求的な学習の過程において、比較・分類・関連付けるなどの考えるための技法を活用することができる。</p> <p>また、その際、情報や情報手段を主体的に選択し活用することができる。</p>
					<p><b>特別活動</b></p> <p>○集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。</p>



**<道徳教育及び道徳科との関連>**

- ・道徳的価値が大切なことなどを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるか判断する力(道徳的判断力)
- ・人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情(道徳的心情)
- ・道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き(道徳的实践意欲)
- ・道徳的な判断力や道徳的心情、道徳的实践意欲に裏付けられた具体的な道徳的な行為への身構え(道徳的態度) ・情報モラルについての学習

**<関係機関等との連携>**

